

3-1-2 第2次計画の進捗

第2次計画の進捗については、計画の実施の判断や評価がしやすいよう、具体的な整備内容が記載されたモデル地区の進捗を整理する。

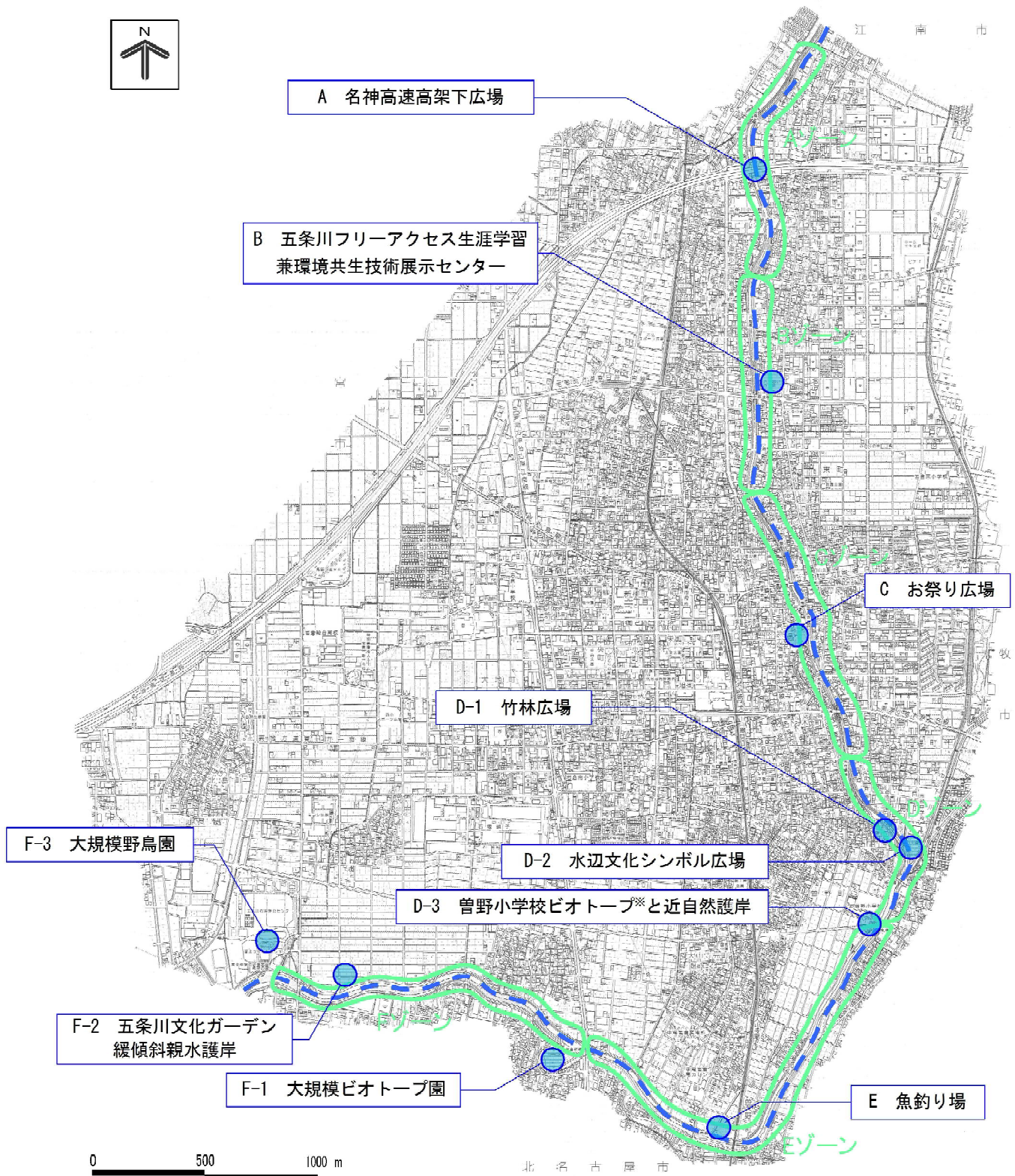


図 3-1-1 モデル地区の位置図

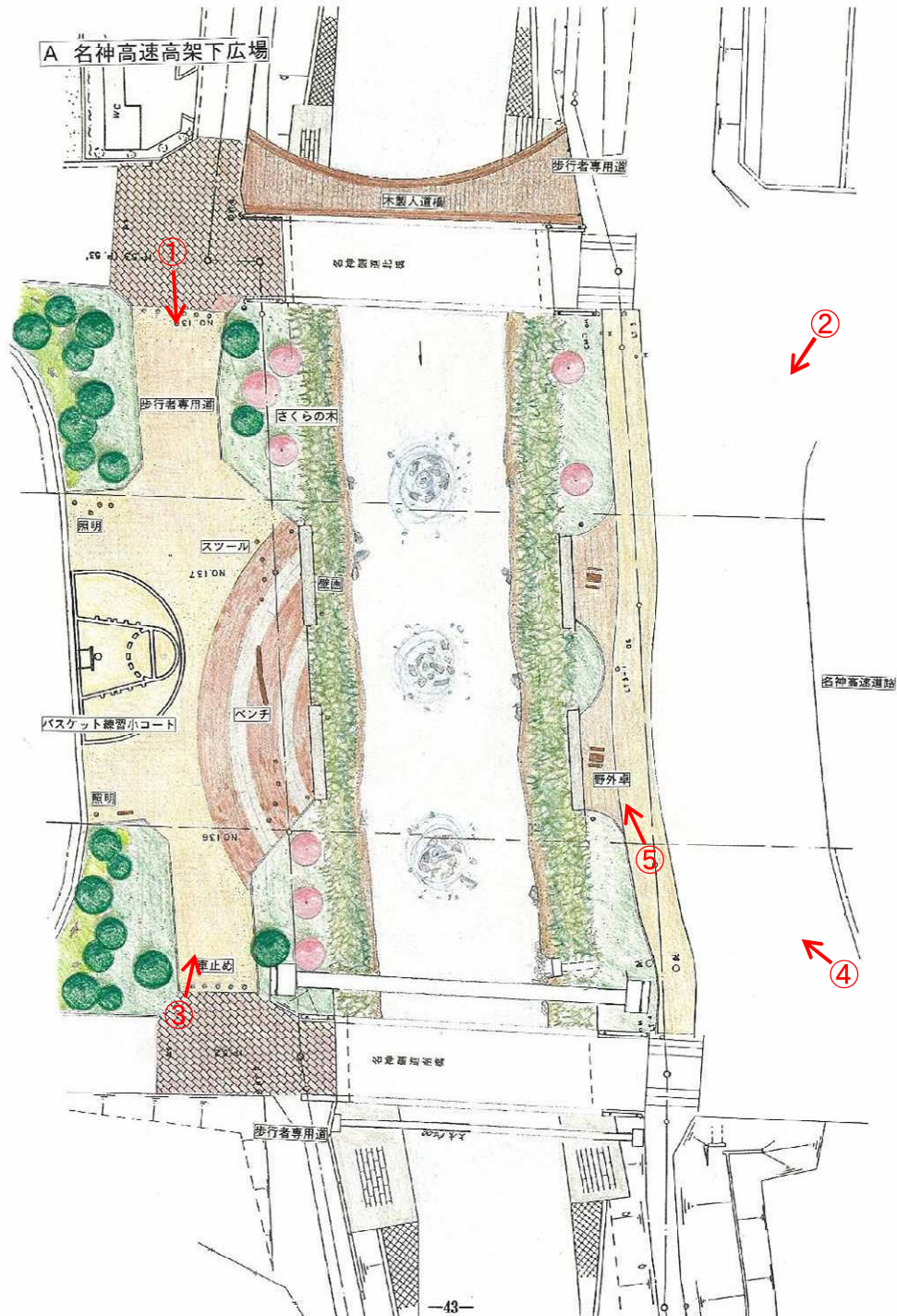
※ 植物、小動物、昆虫、鳥、魚などが共生できる場所を造成または復元したもの。

A 名神高速高架下広場

① 整備方針

現状の名神高速道路下は暗くて、うるおいや憩いがない単なる通路としての役割しかない。通学路や散策路が区切られ、ちょうどこの北側の右岸に石仏休憩所が、南には五条川に沿って五条川小学校がある。そこで、名神高速道路下の広場を再整備し、歩行者専用道により他施設を連携し、五条川と接する新たな親水空間を整備していく。

② 整備計画図



③ 現状

A 名神高速高架下広場計画地の現状



①北西から



②北東から



③南西から



④南東から



⑤ベンチ

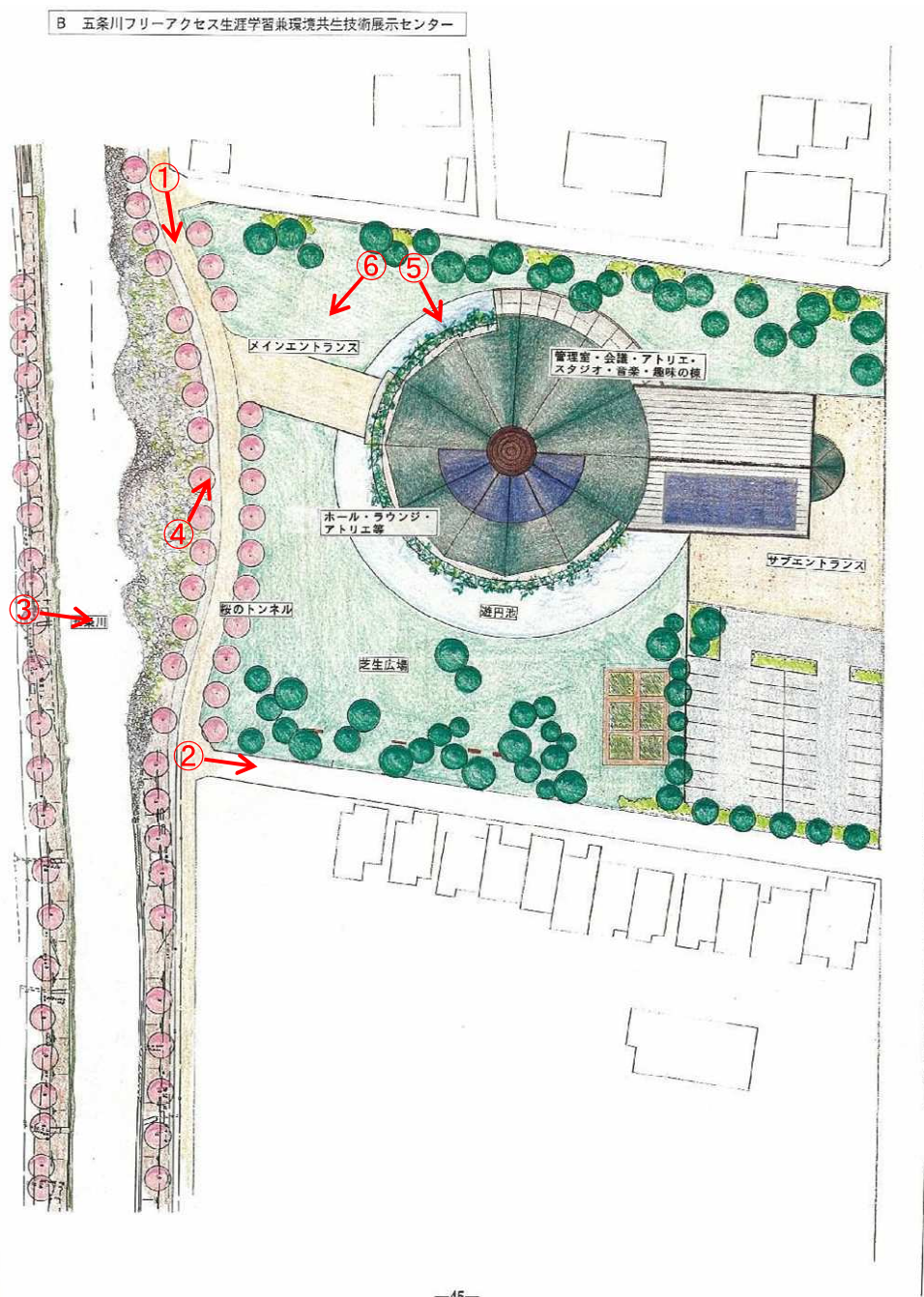
備考	整備済	<ul style="list-style-type: none"> ・ 舗装、植栽、ベンチ ・ 道路照明、壁画アート ・ 名神側道南橋付近の道路にイメージハンブ等
	未整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野外卓、親水護岸等 ・ 人道橋（歩行者は自動車通行が少ない南橋の利用を推奨）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ アダプトプログラムで地域住民等による清掃 ・ 五条川右岸で許可車両のみ通行可

B 五条川フリーアクセス生涯学習兼環境共生技術展示センター

① 整備方針

ここにある唯一大規模な市有地（約 9,337.87m²）を利用して、老若男女が集え、くつろげる施設（ここでは生涯学習センター（案）を設定している）と広場を整備していく。敷地自体が五条川の堤防道路と接しているため、五条川堤防道路のどこからでも、また他道路からもフリーアクセスできる開かれた空間としていく。さらに、ここで整備する施設は、環境共生技術をふんだんに取り入れたものとし、自然環境との融合を考慮した伝統的な河川工法をモデル的に取り入れた護岸整備と一体化した生涯学習センター兼環境共生技術展示センター（案）として整備していく。

② 整備計画図



③ 現状

B 五条川フリーアクセス生涯学習兼環境共生技術展示センター計画地の現状



①北西から（メインエントランス）

②南側



③東側の親水護岸



④南西から（メインエントランス）



⑤グラウンド



⑥トイレ、休憩施設

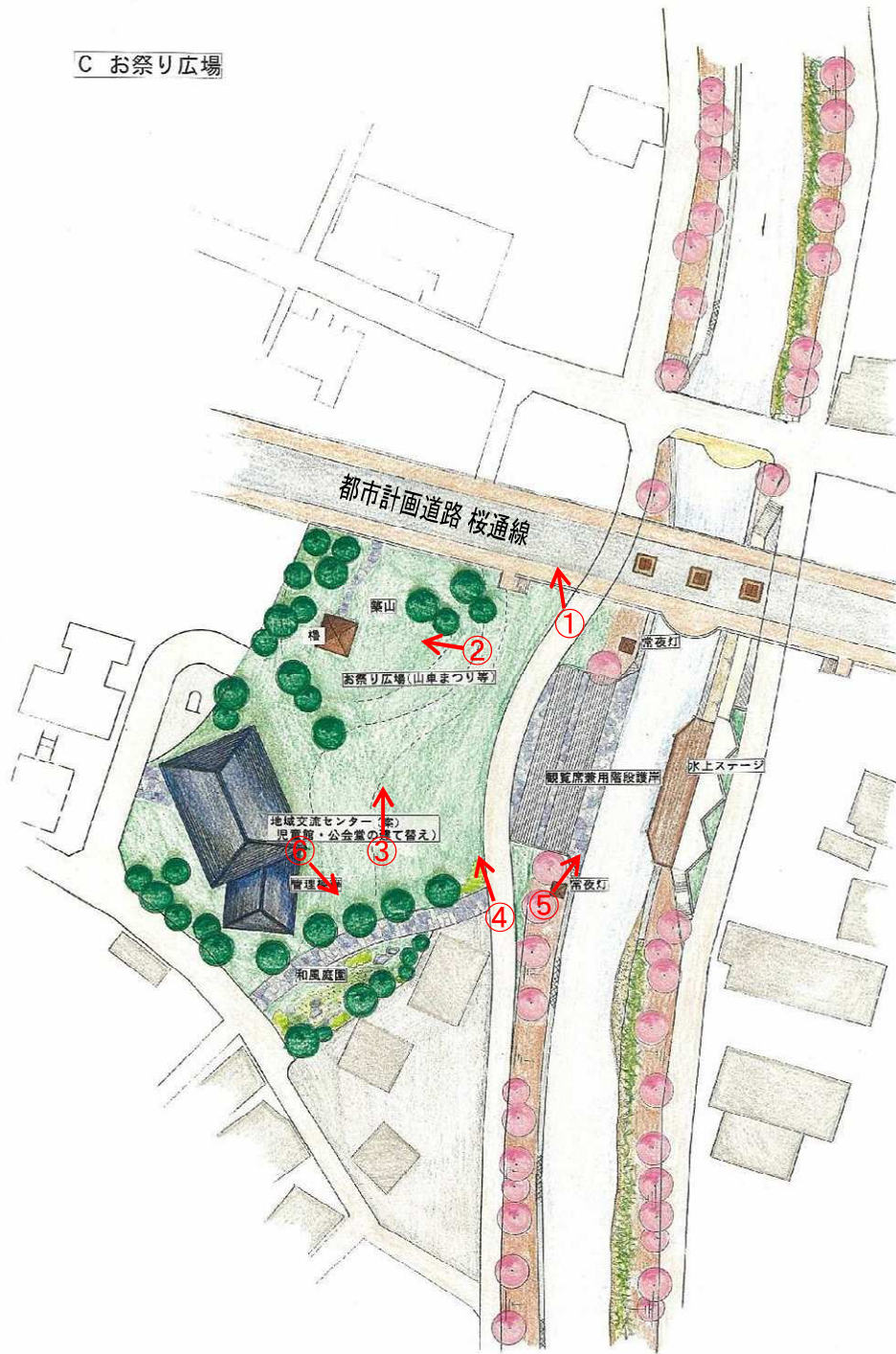
備考	整備済	<ul style="list-style-type: none"> ・ 舗装、植栽、ベンチ ・ 平成橋アンダーパスの整備に併せ、五条川の水際に降りれる護岸 ・ 堤防道路から八剣憩いの広場へのメインエントランスとなる広場
	未整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習施設（岩倉駅東再開発ビル（サクランド岩倉）に整備済、また、地区に近接して多世代交流センターさくらの家が整備済）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広場は、グラウンドゴルフ、桜まつりの駐車場、水辺まつりのメイン会場として有効利用されている。 ・ アダプトプログラムで地域住民等による清掃

C お祭り広場

① 整備方針

岩倉駅から最短距離にあり賑わいを演出する最も効果的なプロジェクトが「お祭り広場」である。ここでは、第1期整備の充実を図るため、屋外イベント空間として階段護岸とステージの整備を図る。

② 整備計画図



③ 現状

C お祭り広場計画地の現状



①園名碑



②広場内のステージ



③南から



④南東から



⑤お祭り広場前の五条川



⑥第三児童館

備考	整備済	<ul style="list-style-type: none"> ・ 舗装、植栽、ベンチ ・ ステージ（広場内）、照明灯 ・ 第三児童館（児童館・公会堂の複合的な役割）
	未整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 櫓、和風庭園
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桜まつりのメイン会場として活用されている。 ・ アダプトプログラムで地域住民等による清掃

Dゾーン (D-1~3)

① 整備方針

大市場橋下流から巾下川合流点までの区間は竹藪やヨシ・マコモ群落などが残り、また自然の洲が形成され、カルガモが息するなど、自然環境が豊かである。そこでここでは、野外教育活動の場として整備し、待合橋北右岸に形成されている洲には葦などの植物を植栽し、すでに棲みついているカルガモなどが観察できる豊かな生息環境の創出と水質浄化を図ると共に、蛇籠[※]護岸により生態系に配慮した河川環境を整備していく。

② 整備計画図と現状

D-1 竹林広場



※ 鉄線などを用いてかごを作り、石を詰め込んだもの。

■現状

D-1 竹林広場計画地の現状



①北西から

②中央部園路

③西側園路

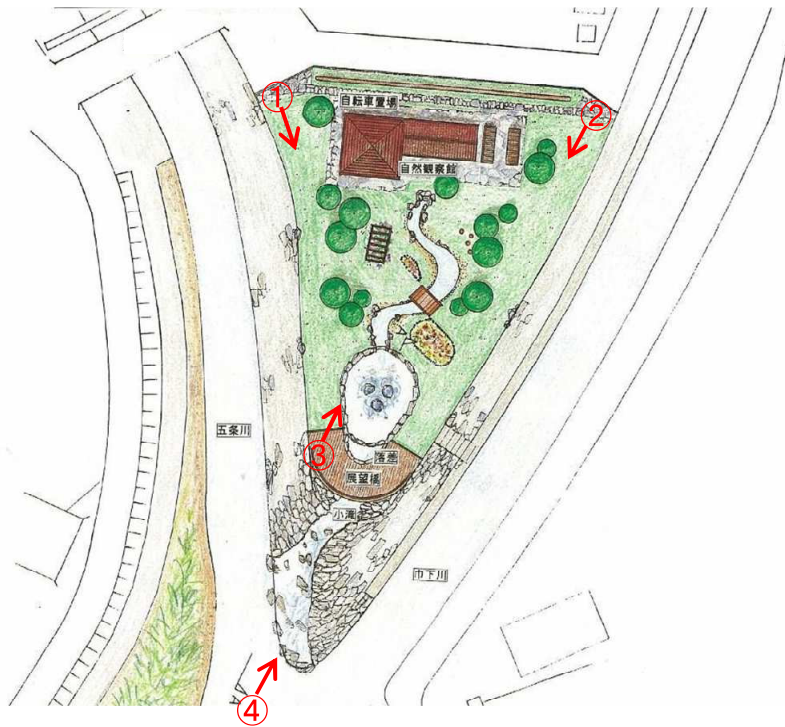
④東側

⑤ワンドと親水デッキ

⑥護岸改修着手箇所

備考	整備済	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹林公園 ・ 親水デッキ ・ 花壇 ・ 南側の幼川橋からのアクセス路となる堤防道路
	未整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人道橋 ・ 四阿（代替としてベンチ、トイレあり）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大市場橋南右岸の護岸改修、堤防道路の整備計画あり

D-2 水辺文化シンボル広場



■現状

D-2 水辺文化シンボル広場計画地の現状



①北西から



②北東から



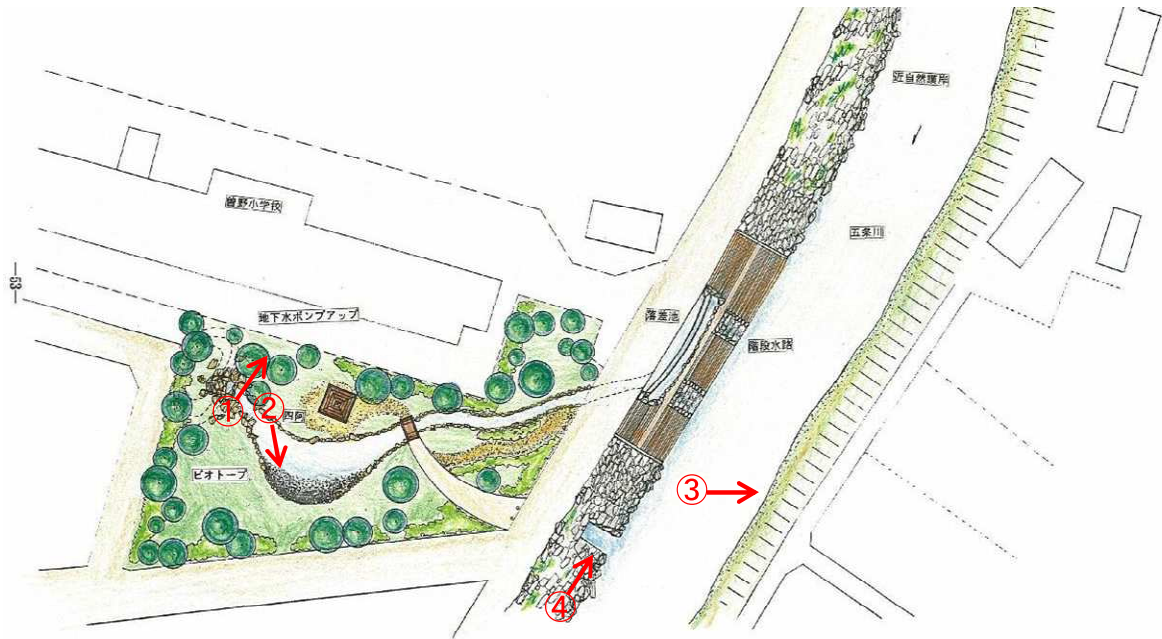
③南西から



④待合橋から

備考	整備済	・ 市民団体が五条川右岸にメダカ池を設置
	未整備	・ 整備は未着手である。
	その他	・ グラウンドゴルフ場として老人クラブが利用、維持管理 ・ 親子魚釣り教室の会場として利用されている。

D-3 曾野小学校ビオトープと近自然護岸



■現状

D-3 曾野小学校ビオトープと近自然護岸計画地の現状



①曾野小学校内「四季の森」



②曾野小学校内「四季の森」



③左岸親水護岸



④右岸親水護岸

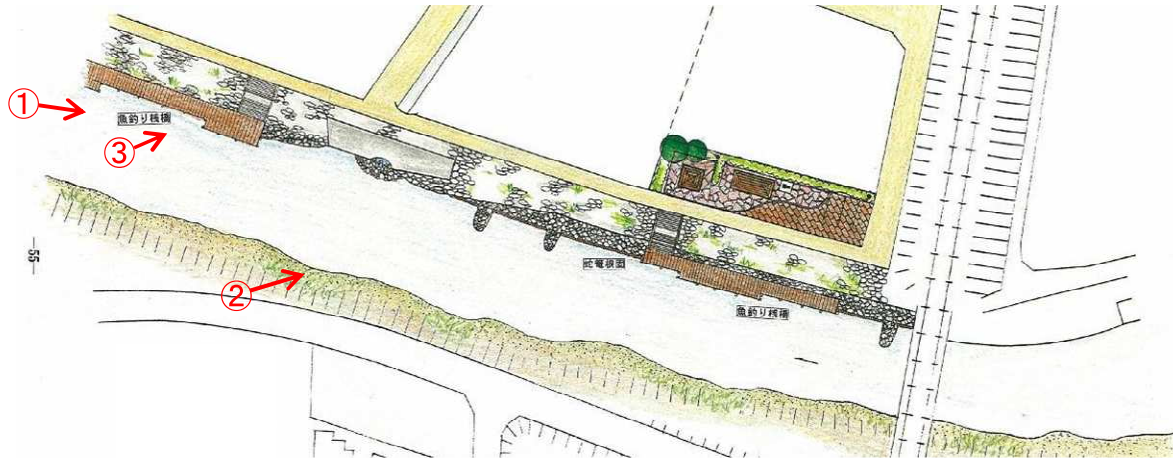
備考	整備済	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出逢橋の整備に伴い、親水護岸を整備 ・ 曾野小学校内に「四季の森」を整備（昆虫、野鳥が飛来し、子どもたちが自然と触れ合う場所）
	未整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地下水を利用した水路

E 魚釣り場

① 整備方針

下流部は上流部ほど五条川が身近な親水空間となっておらず、近傍の集落の市民だけでなく、市民全体の関心を引き、足を向けさせるだけの機能の整備が必要である。前計画で提案されている「魚釣りの水辺」の整備を引き継いでいく。

② 整備計画図



③ 現状

E 魚釣り場計画地の現状



① 西から



② 南西から



③ 親水護岸

備考

・ 整備は未着手である。

Fゾーン (F-1~3)

① 整備方針

岩倉市内の五条川流域では最も自然が残されたゾーンであり、その自然環境をより多様に、より豊かにしていくため、積極的に自然を創出していくゾーンとする。「岩倉21世紀への提言」で示された「南部文化ゾーン開発整備（豊かな水と緑の環境をもつ、文化・交流をテーマにした、やすらぎの五条川文化ガーデン）」や大規模ビオトープ、大規模野鳥園を整備していく。

② 整備計画図



■現状

F-1 大規模ビオトープ園計画地の現状



①農地南側

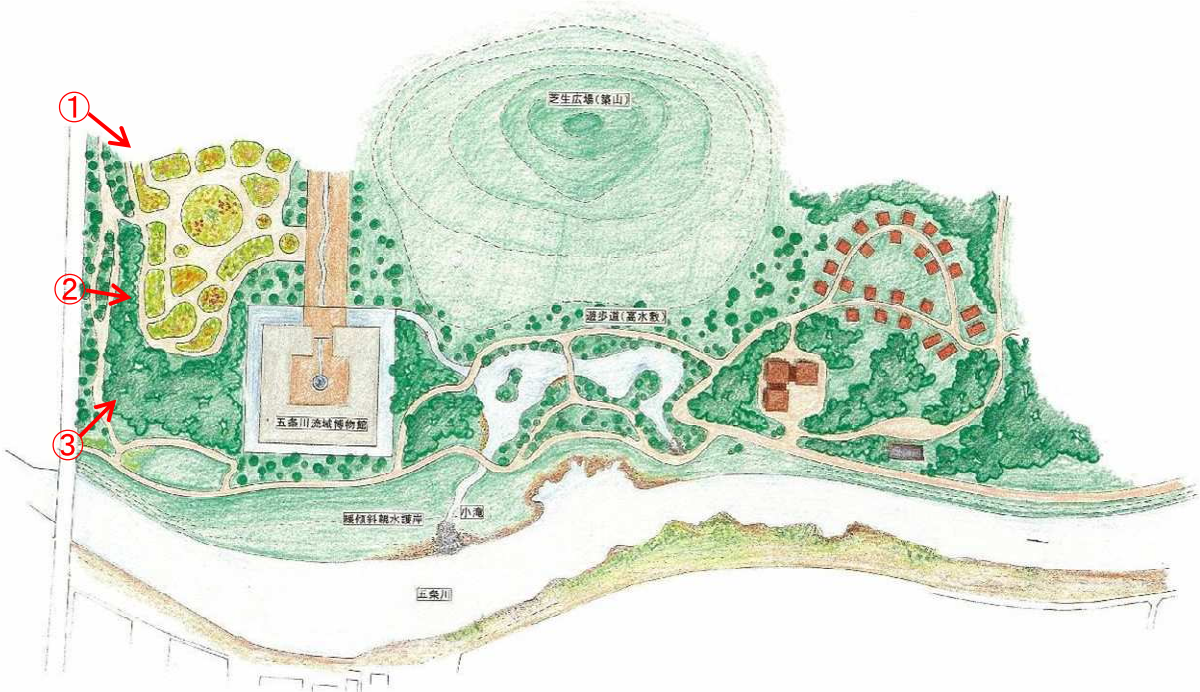


②東から（五条川沿い）

備考

・ 整備は未着手である。

F-2 五条川文化ガーデン緩傾斜親水護岸



■現状

F-2 五条川文化ガーデン緩傾斜親水護岸計画地の現状



①北西から



②西から



③南西から

備考

・ 整備は未着手である。

F-3 大規模野鳥園



■現状

F-3 大規模野鳥園計画地の現状



①北東から西方向



②愛北クリーンセンター正面入口



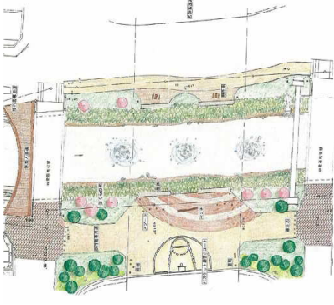
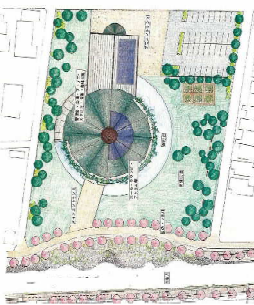

③緩衝緑地内



④水路沿い南方向

備考	整備済	・ 岩倉市内の野鳥生息草地
	未整備	・ 北名古屋市内、一宮市内の整備は未着手である。
	その他	・ 北側の都市の森の計画地は、現状は調整池となっており、野鳥が飛来する。

表 3-1-3 第2次計画のモデル地区の整備状況のまとめと今後の対応方針 (1/3)

地区No.	名称	第2次計画の計画図 (図面尺度は不定)	整備状況	現状を踏まえた問題・課題	今後の対応方針
A	名神高速高架下広場		<ul style="list-style-type: none"> ●整備済 <ul style="list-style-type: none"> ・舗装、植栽、ベンチ ・道路照明、壁面アート ・名神側道南橋付近の道路にイメージハンズ*^{※1}等 ●未整備 <ul style="list-style-type: none"> ・野外卓、親水護岸等 ・人道橋 (歩行者は自動車通行が少ない南橋の利用を推奨) ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・アダプトプログラムで地域住民等による清掃 ・五条川右岸で許可車面のみ通行可 	<ul style="list-style-type: none"> ・左岸は概ね整備済であり、右岸は一部整備済である。 ・市内最北で石仏駅に近い拠点であるため、案内や情報発信が必要 ・見通しのきかない暗がりである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・尾北自然歩道、石仏駅からの玄関口として、案内サイン等の情報発信や案内機能を充実する。 ・街路灯設置など防犯の安全性を確保する。
B	五条川フリーアークセ ス生涯学習兼環境共 生技術展示センター		<ul style="list-style-type: none"> ●整備済 <ul style="list-style-type: none"> ・舗装、植栽、ベンチ ・五条川の水際まで降りることができる護岸 ・堤防道路から八景園の広場への広場へのメインエントランスとなる広場 ●未整備 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習施設 (岩倉駅東再開発ビル (サクランド岩倉) に整備済、また、地区に近接して多世代交流センターさくららの家が整備済) ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・広場は、グラウンドゴルフ、桜まつりの駐車場、水辺まつりのメイン会場として有効利用されている。 ・アダプトプログラムで地域住民等による清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川沿いなどが一部整備済で広場内は未整備であるが、桜まつり時の駐車場を含め広場空間が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のまつりなどのイベント会場、スポーツ大会の会場としての利用を継続・充実する (広場の存続)。 ・生涯学習施設などの施設整備は考えていない。 ・桜などの植栽を充実する。
C	お祭り広場		<ul style="list-style-type: none"> ●整備済 <ul style="list-style-type: none"> ・舗装、植栽、ベンチ ・ステージ (広場内)、照明灯 ・第三児童館 (児童館・公会堂の複合的な役割) ●未整備 <ul style="list-style-type: none"> ・櫓、和風庭園 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・桜まつりのメイン会場として活用されている。 ・アダプトプログラムで地域住民等による清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館などが一部整備済であり、将来的に都市計画道路桜通線の整備に合わせて部分的に再整備が必要 ・都市計画道路桜通線の整備による広場へのアクセス性向上の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩倉駅方面からの玄関口として、情報発信や案内機能を充実する。 ・桜まつり等への活用 (山車の出入り) を検討する。 ・トイレ・パーゴラ*^{※2}等の既存施設の機能を確保する。

※1 道路の舗装材や色の変化により視覚的に道路に凹凸があるように見え、自動車の速度抑制を図る施設。

※2 つる植物をからませるなどして日陰を作るための棚。

表 3-1-3 第2次計画のモデル地区の整備状況のまとめと今後の対応方針 (2/3)








地区No.	名称	計画図 (図面尺面は不定)	整備状況	現状を踏まえた問題・課題	今後の対応方針
D-1	竹林広場		<ul style="list-style-type: none"> ●整備済 ・竹林公園 ・親水デッキ ・花壇 ・南側の幼川橋からのアクセス路となる堤防道路 ●未整備 ・人道橋 ・四阿 (代替としてベンチ、トイレあり) ●その他 ・大市場橋南右岸の護岸改修、堤防道路の整備計画あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね整備済であるため、本公園の有効活用、竹林の維持管理が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民協働により、竹林等の維持管理やイベントを実施する。 ・竹林公園へのアクセスを強化する。
D-2	水辺文化シンボル広場		<ul style="list-style-type: none"> ●整備済 ・市民団体が五条川右岸にメダカ池を設置 ●未整備 ・整備は未整備である。 ●その他 ・グラウンドゴルフ場として老人クラブが利用、維持管理 ・親子魚つり教室の会場として利用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフの継続利用 ・閉鎖的な立地のため、広場の景観向上や水辺の見通し確保などの環境整備が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・当面はグラウンドゴルフの継続利用と融合シンボルゾーンの活動拠点とするため、広場機能、休憩機能を確保する。 ・河川の合流点を活かした眺望機能を確保する。 ・将来的な河川改修においては、待合橋周辺に自然豊かで生態系に配慮した水辺を形成する。
D-3	曾野小学校ビオトープと近自然護岸		<ul style="list-style-type: none"> ●整備済 ・出逢橋の整備に伴い、親水護岸を整備 ・曾野小学校内に「四季の森」を整備 (昆虫、野鳥が飛来し、子どもたちが自然と触れ合う場所) ●未整備 ・地下水を利用した水路 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね整備済であるため、出逢橋の親水護岸の有効活用が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・親水護岸を水辺の環境学習や魚釣り場として利用する。 ・曾野小学校内の四季の森を維持管理する。
E	魚釣り場		<ul style="list-style-type: none"> ●未整備 ・整備は未着手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川区域内における釣りデッキを設置するため、護岸整備が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的な河川改修に合わせて魚釣り場を確保する。

表 3-1-3 第2次計画のモデル地区の整備状況のまとめと今後の対応方針 (3/3)

地区No.	名称	計画図 (図面尺面は不定)	整備状況	現況を踏まえた問題・課題	今後の対応方針
F-1	大規模ビオトープ園		<p>●未整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備は未着手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 用地の取得が必要 五条川の対岸（北名古屋側）にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来的な整備は考えていない。 北名古屋市の五条川プロムナード計画の進捗に合わせ、北名古屋市と連携して河川沿いの散策路等の整備を検討する。
F-2	五条川文化ガーデン 緩傾斜親水護岸		<p>●未整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備は未着手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 用地の取得が必要 当該計画地は、近年改訂された上位計画において市街化を検討するゾーンに位置づけられるため、土地利用の方針転換が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 開発に合わせて整備される公園緑地を河川沿いに配置し、自然豊かな親水公園として整備する。 将来的な河川改修においては、自然豊かで生態系に配慮した水辺を形成する。
F-3	大規模野鳥園		<p>●整備済</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩倉市内の野鳥生息草地 <p>●未整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 北名古屋市内、一宮市内の整備は未着手である。 <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 北側の稲市の森の計画地は、現状は調整池となっており、野鳥が飛来する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本地区では3市の市域界が複雑に入り組んでいる。 本市内は一部整備済であるが、北名古屋市、一宮市の区域では本計画と異なる整備も進んでおり、近隣都市との意識共有と連携が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 北名古屋市、一宮市などの近隣都市と市民活動の面などにおいて連携を進める。 将来的な河川改修においては、自然豊かで生態系に配慮した水辺を形成する。